

ムシ百種 (全国農村教育協会, 1975) が出版されている。美しいカラー写真が232点もあり他に図版53点でカメムシ防除を目的にまとめられたものであるが私達カメムシの好きな者には大変楽しい図鑑であるので紹介しておく。

(14-XII-1975)

コヒゲシマビロウドコガネ大屋町田淵山に産す

(兵庫県産甲虫相資料, 54)

高橋 寿郎

昭和50年度の兵庫昆虫同好会談話会の席上(11月23日)遊磨正秀氏が同年8月5日大屋町田淵山での夜間採集で得られた甲虫類を持参され拝見することが出来、その中にコヒゲシマビロウドコガネが2匹入っていた。本種は兵庫県下からは初めての記録種なので遊磨氏のお許しを得て此処に発表させて頂く。

Gastroserica brevicornis (Lewis) コヒゲシマビロウドコガネ

養父郡大屋町田淵山, 2♀♀, 5・Ⅷ. 1975 遊磨正秀 採集

ご承知のごとく日本産*Gastroserica*属は2種を産し、他の1種は*G. hignonis* (Lewis)、ヒゴシマビロウドコガネで九州にのみ産する。

本種の分布は本州, 四国, 九州となっているが必ずしもその産出状況が広く知られていない。LewisによりNihho (日光)及びShinkano (岐阜県の新加納)産の標本により1895年記載された種である。

近畿地方では三重県, 奈良県下からのみ記録されており(平倉演習林, 八幡村, 吉野郡下, 春日山, 護摩壇山, 大台ヶ原等)、兵庫県からは始めてであるばかりでなく西万中国地方からの産が全く記録されていない。四国では面河溪, 剣岳, 高知等、九州では彦山が知られている。三重県の平倉演習林では電燈に飛来することがだいぶ前から知られており筆者の手許にも大倉正文氏採集の同地産1♂, 1♀(16-Ⅷ-1955)を同氏の御好意で保管している。一般にその生態がよくわかっていないから採集されることも少く記録も余り無いのかも知れない。とにかくこの種が兵庫県下に分布していることがわかって大変うれしいことである。

(25-XII-1975)